

千葉県子どもの読書活動推進計画（第五次）に係るアンケート結果

1 概要

第一回読書活動推進部会で指摘をいただいた県内の読書に関する現況について、抽出した学校に対してアンケート調査を実施した。

質問項目

- (1) 朝読書についてコロナ禍で変化はありましたか。
- (2) 司書教諭以外で学校図書館で司書的な役割を担っている職員は何人いますか。
- (3) 【質問(2)】で「いない」以外を選択した場合、その職員の役職を教えてください。
- (4) 【質問(3)】で記入した役職の方の勤務形態を教えてください。
- (5) 【質問(3)】で記入した役職の方の週における勤務日数を教えてください。
- (6) 貴校の図書館(室)の週における開館日数を選択してください。
- (7) 【質問(6)】で週における開館日数が毎日ではない場合、その理由を教えてください。
- (8) 【質問(1)から(7)】で補足説明の必要があれば記入してください。

2 対象校

| | | |
|-------------|--------------|------------|
| 八千代市立西高津小学校 | 船橋市立三田中学校 | 鋸南町立鋸南小学校 |
| 鴨川市立鴨川中学校 | 山武市立緑海小学校 | 睦沢町立睦沢中学校 |
| 流山市立八木南小学校 | 柏市立柏中学校 | 佐倉市立和田小学校 |
| 成田市立中台中学校 | 銚子市立銚子高校 | 千葉女子高校 |
| 袖ヶ浦高校 | 鎌ヶ谷高校 | 成田西陵高校 |
| 千葉聾学校 | 桜が丘特別支援学校 | 東葛の森特別支援学校 |
| 四街道特別支援学校 | 特別支援学校流山高等学園 | |

※回収率 90% ※18校/20校

(小学校5校 中学校5校 高等学校5校 特別支援学校3校)

3 調査結果

(1) 朝読書についてコロナ禍で変化はありましたか。(回答数18)

| 項目 | 校数 |
|-------------------|---------------|
| コロナ禍以前から朝読書をしていない | 8 (高4 特3 中1) |
| 変わりなく朝読書を続けた | 10 (小5 中4 高1) |
| コロナ禍を機に朝読書をやめた | 0 |
| コロナ禍を機に授業等に振替えた | 0 |
| その他 | 0 |

高等学校と特別支援学校は、回答があった8校のうち7校が、「コロナ禍以前から朝読書をしていない」と回答した。学校の特性や教育課程編成の違いが理由に考えられる。

小学校、中学校ではほとんどの学校がコロナ禍以前と「変わりなく朝読書が続けた」と回答した。中学校で1校のみ、「コロナ禍以前から朝読書をしていない」と回答した。

(2) 司書教諭以外で学校図書館で司書的な役割を担っている職員は何人いますか。(回答数18)

| 項目 | 校数 |
|-----|------------------|
| 1名 | 15 (小4 中5 高5 特1) |
| 2名 | 0 |
| 3名 | 1 (特1) |
| いない | 2 (小1 特1) |

学校種関係なくほとんどの学校で司書的な役割を担っている職員がいることが分かる。「いない」と回答があった小学校では1学年1学級、特別支援学級1学級、計7学級と小規模であるため職員の配置がなされていないのではと考えられる。

(3) 【質問(2)】で「いない」以外を選択した場合、その職員の役職を教えてください。(回答数14)

| 項目 | 校数 |
|----------|--------------|
| 図書館司書 | 7 (小3 中3 高1) |
| 実習助手 | 4 (高4) |
| 学校図書館指導員 | 1 (中1) |
| 読書指導員 | 1 (小1) |
| 主幹教諭 | 1 (特1) |

(4) 【質問(3)】で記入した役職の方の勤務形態を教えてください。(回答数14)

| 項目 | 校数 |
|-----|-----------|
| 常勤 | 6 (高5 特1) |
| 非常勤 | 8 (小4 中4) |

(5)【質問(3)】で記入した役職の方の週における勤務日数を教えてください。
(回答数14)

| 項目 | 校数 |
|----|--------------|
| 1日 | 3 (小2 中1) |
| 2日 | 1 (小1) |
| 3日 | 3 (小1 中2) |
| 4日 | 1 (高1) |
| 5日 | 6 (中1 高4 特1) |

特別支援学校では、主幹教諭が司書的な役割を担っているケースがあった。全ての高等学校は図書館及び実習助手の勤務形態は常勤であることが分かった。小学校、中学校では非常勤であり、差が見られる。常勤の場合はほぼ週5日勤務であり、非常勤の場合は勤務日数に差が見られる。

(6) 貴校の図書館(室)の週における開館日数を選択してください。
(回答数18)

| 項目 | 校数 |
|----|------------------|
| 2日 | 1 (小1) |
| 5日 | 17 (小4 中5 高5 特3) |

(7)【質問(6)】で週における開館日数が毎日ではない場合、その理由を教えてください。
(回答数1)

・図書委員の活動日としては2日だが、常時職員の許可のもと利用が可能であるため。

ほとんどの学校が「5日」と回答した。「2日」と回答した学校も図書委員の活動日が2日であり、職員の許可があれば常時利用できると回答している。実質全ての学校で毎日児童・生徒が図書館を利用することは可能となっている。

(8)【質問(1)から質問(7)】で補足説明の必要があれば記入してください。
(回答数2)

・(高) 有資格者を探し毎年発令はされているが、本校では「司書教諭」の役割が認知されておらず近年は「名前貸」状態である。単独授業をのぞき「司書教諭」の仕事は「実習助手」で採用された常勤の職員(現在は教育職2級の「実習講師」)が担っている。かつては事務職員枠で採用された方や団費、図書費から給与が払われていた学校があったが現在、県立高校は「実習助手」で採用された者が校内人事で図書館の仕事を担当している。「実習助手」は教育職のため授業や探究学習へのサポートに入りやすい一方、専門の職名がな

く資格不問で採用され県の研修（フォロー）もなく実務が困難である場合や異動等により経験が積み重ねられない問題が生じている。毎年夏に学校図書館部会より県教委へ県下の学校図書館に専任の人（司書）を配置、新規採用者は有資格で、現職者完全移行の資格取得措置、を要望している。

- ・（特）特別支援学校のため、図書室に常駐の専任の司書教諭は配置していない。通常の教諭が図書司書を兼任して図書整備にあたっている。図書館資料の選択、発注及び受け入れから、分類、目録作成は開校時から司書教諭と相談しながら主幹教諭が行っている。

今回の調査から、学校種関係なく司書的な役割を担っている職員が配置されていることが分かったが、勤務形態や日数については差が見られた。特に、高等学校では、図書館司書、実習助手に差はあるものの、常勤の職員が配置されている。小学校、中学校では非常勤の職員で勤務日数に差がある。

高校生の不読率は高いが、高等学校には常勤の職員が配置されていることから、司書、実習助手と不読率の関係性はあまり深くないことが考えられる。高校生の場合は、朝読書を行っていない学校が多いことや生活習慣に関わるのではないかと推察できる。高校生が本に触れる機会を増やす方策に目を向けることも必要と考える。